母校で教壇に立ち、雇用政策や特別支援教育の推進などマルチに活躍

菊池（きくち）　桃子（ももこ）

＊女優

＊戸板女子短期大学　客員教授

■プロフィール

1984 年芸能界デビュー。
幅広い芸能活動と一男一女の母として子育てを両立する傍ら、2012 年 3 月法政大学大学院政策創造専攻修士課程修了。その後、母校である戸板女子短期大学の客員教授としてキャリア形成論等の講義を担当している。また本年、メンタルケアカウンセラーの資格を取得。研究分野は「雇用政策を踏まえた人々のキャリア形成」。著書「午後には陽のあたる場所」（扶桑社）がある。

■主な著書

午後には陽のあたる場所（扶桑社）

主な講演テーマ

1. キャリア形成論
2. 生涯学習
3. 男女共同参画社会
4. 人口減少社会のキャリアデザイン
5. 共生社会
6. 未来の教科書づくり
7. いま必要な働きかたのポイント
8. 子供たちのキャリアを支える～大人の役割り～
9. 社会学から考える心理学
10. キャリア論から見た健康のこと

「認め合い」「ダイバーシティ（多様性）」をキーワードに、一人ひとりが輝く共生の社会づくりについてお話しします。雇用政策、人材育成、キャリア形成、少子高齢化、子育て支援、障がい者支援など社会の課題についての説明も、写真やご自身の学んだ実例を盛り込んだスライドがあるので、分かりやすいと好評です。